

# 新たな地方創生のための 市民アイデア募集結果

釧路市

2025(令和7)年5月7日



# 1. 意見募集の概要

○募集期間：令和7年3月3日（月）～4月11日（金）

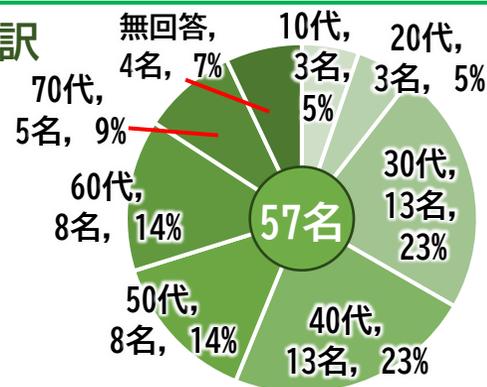
○募集方法：WEB上の応募フォームで募集

○周知方法：市HP、Facebook、公式LINE、  
広報くしろ4月号

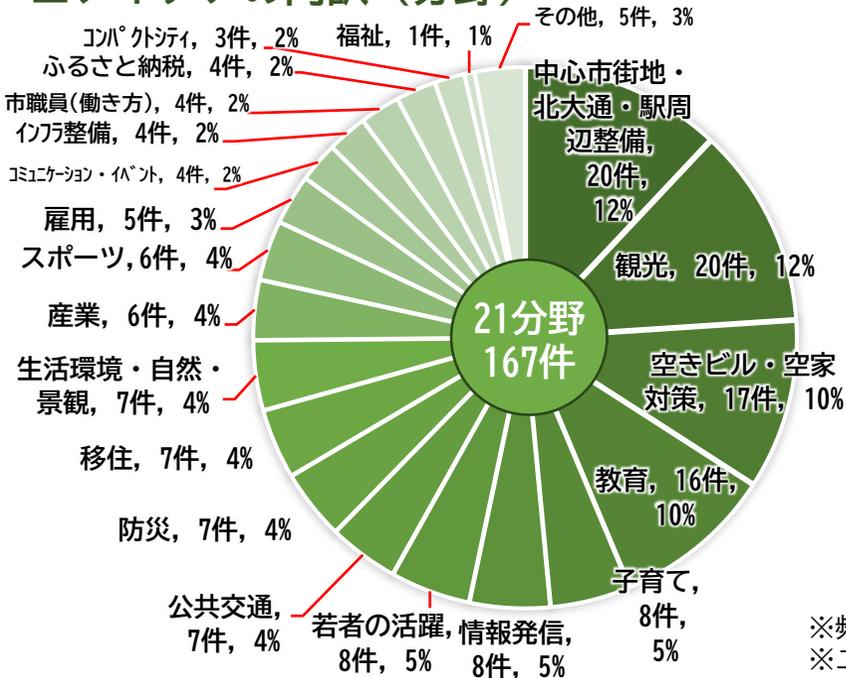
○応募件数：82件（応募者数：57名）

## ■提案者の内訳（年齢別）

※18～76歳の  
57名から提案  
があった  
30代、40代  
からの提案が  
多かった



## ■アイデアの内訳（分野）



※複数分野にわたるアイデアは複数の分野でカウント  
内訳の合計とアイデア件数の合計は一致しない

## ■ワードクラウド



※頻出の名詞を抽出したイメージ図  
※ユーザーローカルAIテキストマイニングによる分析  
( <https://textmining.userlocal.jp/> )

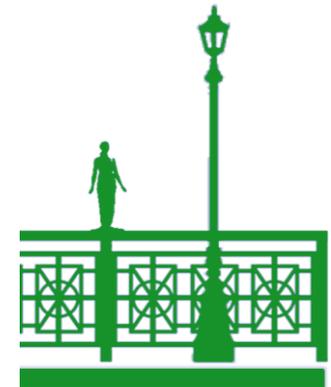
※駅周辺、北大通など中心市街地の  
賑わいや観光振興に関する  
アイデアが多かった

◆次ページから提案いただいた主なアイデアの一部を分野別にご紹介します。 1

## 2. 主な提案アイデア①

### ■ 中心市街地・北大通の賑わいづくり・駅周辺整備

- ・ 駅周辺、もしくは駅直結で、札幌駅のJRタワーのようなランドマークを建設する。観光や行政の拠点として利用し、震災時には津波避難タワーとして活用する。
- ・ 附属義務教育学校を駅前へ移転する。子供たちが中心市街地に集まることにより北大通を活性化させる。釧路市が校舎を設置し学校に賃貸借する。
- ・ 市内中心部にキャンピングカーが全国から集まる巨大な駐車場（キャンプ場）を整備し『近代型キャンプ都市』として全国に売り出す。
- ・ 駅舎、駅中、駅周辺の大開発を行い、地下道や地下空間を造成する。
- ・ 北大通に道の駅を新設して人を呼び込む。
- ・ 駅前（北大通）に娯楽施設や総合ショッピング施設を誘致する。
- ・ 豊洲ららぽーとのような商業施設を誘致する。人が外に出てお金を使う環境をつくる。現代的、オシャレで屋内、外で楽しめる施設があれば子連れで街を歩くと考える。
- ・ EGGの有効利用する。大学生に依頼しショーやコンテストなどの企画を実施する。
- ・ 釧路川のリバーサイドにて、週末の夕方から夜の時間帯限定で、マーケット（つまみ、お土産、雑貨等）を展開し、徒歩により人が集まる場所を創出する。
- ・ 大学生や若者が中心部に来る仕組みづくりが必要。毎週末若者中心のイベント（ライブや講演会、交流会）を中心市街地で開催する。休みの日にふらりと中心部を訪れるという人も増える。若者の主な移動手段は自転車や自動車。駐輪場や駐車場をもっと増やして欲しい。
- ・ 小中高大生対象のまちづくりワークショップを中心市街地で定期的にできるだけ多く開催し、まちの当事者として巻き込むアクションを起こしていく。
- ・ 駅前（北大通）の企業や店舗でキッズニアのような職業体験を実施する。現実の世界で、仕事を学んでもらうとともに、北大通に人を集めることもできる。



## 3. 主な提案アイデア②

### ■観光振興

- ・飲食店や物販の事業者支援を行う。利益の出る施設を作る。レンガ倉庫を耐震化し、他の港湾都市に倣い観光施設として利用する。
- ・広大な湿原でただ見るだけではなく、一面に花を咲かせるなどの活用をしてほしい。帯広のいなり小路のような外で飲める施設が欲しい。
- ・伊福部進の生誕地であることからゴジラのモニュメントを設置して観光スポットにする。
- ・海外メディアの記者を招聘し、メディアツアーを実施してインバウンドを道東へ誘致する。
- ・フェリーの誘致。道東観光は車で移動した方が効率的であり、観光面でもメリットがある。
- ・鶴公園と阿寒国際ツルセンターを統合し効率的に観光できるようにする。
- ・道東という広い枠で、世界が羨むような自然と共存できる地域を確立する。釧路への交通ルートを確保し、道東を国内外からもっと近い場所にする。
- ・釧路市中心部（市役所・出世坂・国際交流センター・末広地区・釧路川沿い）のライトアップを行う。
- ・観光閑散期に地元民が利用出来るクーポンを発行する。
- ・ガイドが不足しているため、ガイド育成も兼ねて、大学生など若者向けの自然体験や育成プログラムを実施する。
- ・旧日本製紙跡地を東京神宮外苑のようにして、鳥取神社を移転し、春には桜の名所、秋には楓の紅葉など観光スポットにする。
- ・フットパスの街歩きに価値を感じる。歴史を知り、街を歩く、地形を知るなど有意義な時間の提供も釧路の魅力を伝える方法の一つだと考える。
- ・観光大使には、もっと強力に釧路のPRで連携し、SNS上や本州メディア等で釧路の観光や名産品・ふるさと納税を発信してもらいたい。
- ・根釧原野内に映画ドラマCMなどのオープンセットを建築し、撮影現場とする。
- ・釧路湿原ノロッコ号の及び魅力ある新型観光列車への更新。
- ・大型クルーズ船の寄港に合わせて、釧路港朝マルシェ（パン、野菜、コーヒー、地酒、雑貨等の販売）を定期的で開催する。



## 4. 主な提案アイデア③

### ■空きビル・空家対策

- 北大通の補修が可能なビルを若者や新規事業者に格安で貸し出し、最低限の予算でチャレンジができるようにする。
- 汚い空ビルや空き地を一旦リセットして多様なショップが数多く開店できる土地を駐車場込みでを整える。
- 障害者のための就労支援施設として、空きビルを活用した遊園地をつくり、賑わいを創出する。
- 廃墟ビル放置条例を制定する。景観を害することだけでなく安全面や健康をも害することに繋がると考える。罰則を設け、解体につなげる。
- 空家を公費で解体してキューバのようにまちなか農園として貸し出す。地域コミュニケーションの場として賑わいと楽しみが増え、人が集まる。
- 空きビルや古民家（空き家）を活用した若者のチャレンジショップ（ファッション、飲食、ライブハウス、eスポーツ会場等）とする。
- 北大通やその周辺には空家や空き店舗が多くあるので学生に無料で貸出す。外壁に絵を自由に描いてもらう。
- 駅前等の中心市街地の空き店舗を若い世代が活用してチャレンジショップを始められるよう、導入経費、家賃補助を既存より手厚くし、その活動を支援していく。
- 駅前、北大通周辺の空きビルを避難所に指定する。釧路市で、格安で借り切り、避難所として改築活用する。
- 空きビルを解体し、公共施設を出来るだけ中心街に集約する。
- 北大通の空きビルをダンスホールにする。ファッションショーを開催する。ライブ会場にする。お化け屋敷を運営する。（老朽化により通常テナントの営業は困難）



## 5. 主な提案アイデア④

### ■教育

- ・高校の普通科を減らし、地域にあった高校にする。例えば白糠と阿寒の高校を合併して釧路農業高校にし、農業生産力を増やす。普通科を減らし専門科を増やす。調理パティシエ科、水産養殖科、観光外国語科、服飾デザイン科等、地域を活性化し、卒業して地元で働ける学科をつくり産業振興を図り、若者を外から集める。
- ・若者(子育て世代)を呼び込むには教育が充実しているかが求められている。釧路の自然を活用した教育やワークショップや体験入学ができると親子で長期休暇を利用して体験し、移住にもつながる。
- ・市外からきた大学生などが、そのまま住みたくなる支援(就労支援・起業支援・家賃補助・奨学金一部免除)を実施してほしい。
- ・形だけでは無いコミュニティスクール/チーム学校運営が必要である。コミスクを導入している学校、及びその質に格差があると感じる。
- ・親の精神サポートプログラム「ペアレンティング勉強会(親業)」の定期的開催。教員の負担軽減、学校や社会の幸福感向上にも有効。
- ・学校に親も子どもも相談できる、教員ではない「第三者」を置く(山口県下関の中学校の例)
- ・教師の精神的な負担を軽減するためにも、学校の教育方針の見直し、情報共有、ワークショップ開催を定期的に行う。
- ・釧路地域ふるさと映画『鶴の里物語』を学校で上映し、郷土愛を育み、釧路に住み続ける気持ちを強くする。
- ・中等教育(市立北陽高校)と高等教育(釧路短期大学、釧路公立大学)の接続を強化し国際感覚と異文化理解を持った地域経済をけん引できる人材を育成する。
- ・まちづくりやにぎわい作りに、計画段階から今後を担う児童を参加させてほしい。
- ・部活動の地域移行を促し、住民と生徒の繋がりを生み、最強の選手を地域で育成する。世界でも通じる英語教育を独自に行う。金融教育の充実を図ってほしい。
- ・子どもたちの学習環境を子どもの側から見直し、子どもの声をすくい上げ、子どもたちを見守り緩やかな育ちを伴走する。
- ・お金や税金の教育を市独自で取り入れる。生計を立てるまでのロードマップ作り、雇用されている人の話を聞く会、起業をしている人の話を聞く会、株や投資をしている人の話しを聞く会、税金について調べるワーク等を開催してほしい。
- ・釧路公立大学の秋入学を実施する。受験期や4月の入学時期はホテル代や引越代が高く時期をずらせないか。



## 6. 主な提案アイデア⑤

### ■子育て

- ・釧路市内、釧路町内にはこどもを遊ばせる室内遊戯施設が少なすぎる。湿原の風アリーナや、ちびっ子マンデーは乳幼児向けメインとなっていて、小学生になると敷居が高い。寒い時期が長い釧路だからこそ、広い年代が遊べる施設が必要。
- ・子供の一時預かりの場所や情報が増えたら良いと感じる。兄弟の付き添い入院の為、一時預かりを探したが、急遽預かってもらえる場所が無かった。各々の保育園に連絡して確認しなくてはならず、市などで情報を一元管理してほしい。
- ・時短勤務を小学校入学までではなく、せめて小学校4年生あたりまで引き上げて欲しい。子供の面倒を見てもらえる人が居らず、退職するという選択肢を取らざる得ません。働きたいのに働けない現実です。もしくは、学校・児童館の開所時間を早め、閉所時間を伸ばして欲しい。
- ・スポーツを始めようと思っても道具代などが高額で簡単に始めることが出来ない実態がある。新たにスポーツを始める子供たちの道具代などを支援ほしい。子育て支援の充実は少子化対策にも繋がる。
- ・保育園留学やサマーキャンプなど、市外の学生、子育て層が参加できる企画を実施してほしい。実際に東京に住む友人を釧路での長期滞在に誘った際に、親の仕事がオンラインで対応可能でも子どもの受け入れ先がなく、長期滞在は不可能な状況であった。
- ・学校から児童館や習い事などへのオンデマンド交通が利用できるようにしてほしい。

